

## 生藤山陽だまりハイキング山行報告書

(山域) 裏高尾周辺

(コース) 井戸(バス停)～三国山～生藤山～茅丸～醍醐丸～和田峠～陣馬山～陣馬登山口

(日時) 3月6日(日曜日)

(天候) 曇りのち晴れ

(参加者) CL: 内堀(記録)・島田・土門・小川

(山行タイム)

井戸 8:55～三国山 10:20～生藤山 10:30～茅丸 10:50～醍醐丸 11:55～

和田峠 12:35～陣馬山 13:10～陣馬登山口 14:30

(山行報告)

本日、入会まもない小川さんの行ける山を計画して、同様に島田さん、土門さんをお誘いした。小川さんは今回が初登山であり、少し心配していた。今回、待合わせは上野原駅 8:25 着電車として、8:30 発の井戸行バスにギリギリ乗った。車窓からは梅が満開に咲いている。何だか目と鼻がムズ痒い。花粉症の薬飲んで来たのに。今日は強烈か？ いつの間にか終点に到着。ザックを担ぎ、舗装路を歩くと、軍刀利神社前に到着して、神社を登って行くと奥ノ院に出る。軽く参拝して本日の安全登山を祈願する。賽銭箱の横には白旗史朗の名前が、寄進したのであろうか。初めはスローペースで歩き始め、ジグザグの登山道で高度を稼ぐ、あつと言う間に三国峠に到着した。1 回目の休憩に入る。途中、佐野川峠から来た人たちが私達を抜かしていった。休憩もそこそこに、更に登ると三国山に到着。意外と簡単であった。本日天気の良い予報であったが、前日に予報が変わり本日ギリギリ持つ予報と変わった。曇りと思いきや青空と、遠く、秩父の山々が見えている。結構ラッキーである。去年の山行中止 1 回(延期)、今年山行中止無と恵まれている。三国山を後に更に登ると、生藤山に到着した。景色は良く、標高も 1000m 弱と意外とあった。



この頃になると、花粉症が酷くなり、私始め 3 人の方がこの飛散した花粉にやられている。花を噛み、皆さんと記念撮影を済ませ、先を急ぐ、いきなり下降して、登り返しを上がるとそこは茅丸であった。標高 1019m と本日一番の高所地点、但し景色は悪く、写真に収めた後は、そそくさ先に進む。やはり、登り下りと続き、巻道を行かず全て直登コースを選んだが、山頂と思われる標識が無く、そのまま通過を重ねると、醍醐丸に到着した。昼食タイムに入る。北側のみ展望がある。途中風が吹くと花粉がさらに飛散して、ティッシュが離せない。困った。足りるかな？ 皆さんと初めての山行のため、時間が読めず、休憩もそこそこに歩き出す。醍醐峠を下り、和田峠の国道に出た。本日和田峠の休憩所はお休みである。冬はやらないのかな。そこより階段と登山道が交互に表れ、最後の階段で陣馬山に到着した。意外と速い。皆さん、休憩所でジュースや食べ物を購入して、暫し休憩を楽しんでいた。山頂の馬の前で記念撮影を行った。登りはここまでで、これからは下りのみである。時刻は 13:10 とかなり早い時間で来ていた。バスの時刻表を見ると 14:39 とあり、ギリギリ間に合いそ

うなので、陣馬山から高尾に向かう道に進み、途中で分岐し栃谷尾根に向かう。途中少し勾配のある下りがあったが、全体的には緩い下り道である。40分程度で民家が見え舗装路が表れる。ここからが結構嫌な舗装路が出て来て、初めは勾配がきつかったが徐々に無くなり、大きい道に出ると、陣馬登山口が直ぐ出て来た。14:30とバス時刻に間に合いました。山と渓谷の標準タイムは5.5Hであり、休憩込みでこの時刻で着くとは。この一本先の15:39頃と思っていたが、年の差はあるものの、皆様結構健脚揃いの方々であった。本日は花粉の飛散もあり、長く休憩することも無く、只ひたすら、歩き続けた山行になったようである。皆さんには申し訳ないことをしました。バスで藤野駅に到着して解散した。私と小川さんは駅前のお店屋さんでビールつまみを購入して、15:11の電車で帰葉した。帰りの電車の中では登山談義に花が咲き、小川さんは目を輝かせていた。



以上